

日本神経学会九州支部会員各位

第 229 回日本神経学会九州地方会ならびに第 134 回日本脳神経外科学会九州支部会は、令和 2 年 2 月 29 日に合同開催の予定で準備を進めており、既にプログラム集はお手元に届いていることと存じます。しかし、その後、新型コロナウイルス感染症が我が国でも流行の兆しとなりました。既に 3 月 1 日の生涯教育講演会は、長時間狭いスペースで拘束されますので中止が決まっております。また当初 2 月 29 日の地方会後に予定されていた祝賀会も立食形式であるため中止が決まっております。

会員の勉強の機会と単位取得の機会が失われるため、会場の座席の配置を工夫したり入室時の感染対策を図ったりするなど対応策を検討し、地方会自体は極力実施の方向で進めてまいりました。また九大病院感染制御部にもコンサルテーションしました。しかし、最近の厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」の方針では、今から 1、2 週間程度が感染の拡大を防ぐためにクリティカルな時期であるためイベントの自粛が求められています。

そこで第 229 回日本神経学会九州地方会会長と第 134 回日本脳神経外科学会九州支部会会長とで協議し、第 229 回日本神経学会九州地方会ならびに第 134 回日本脳神経外科学会九州支部会の合同学会は中止するのが適切との判断に至りました。なお、第 229 回日本神経学会九州地方会会長、第 134 回日本脳神経外科学会九州支部会会長とも 3 月末で九大を退職しますので、延期はありません。

日本神経学会の支部運営細則第 19 条では、「支部が開催する学術集会(地方会)には、企画・運営の責任者として地方会会長を置く。」となっていますので、今回の地方会会長の方で中止を決定させていただくことになります。会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、第 229 回日本神経学会九州地方会ならびに第 134 回日本脳神経外科学会九州支部会の合同学会は中止することをご了解いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。なお単位の取得機会の喪失に関する対応策は、今後、高嶋支部代表の方で神経学会側とご相談いただけるということです。よろしくお願い申し上げます。

2020 年 2 月 25 日

第 229 回日本神経学会九州地方会会長

吉良潤一